

「朝日新聞 但馬 平成 22 年 7 月 11 日付」

## コウノトリのエサ場お掃除

### 豊岡・日高地区 住民ら「住み着いて」

豊岡市日高町山本にあるコウノトリの放鳥拠点から、今月初旬に巣立ちした 2 羽の幼鳥に日高地区に定着してもらおうと、地元や企業のボランティアの人たち約 30 人が 10 日、コウノトリのエサ場となる水田ピオトープや湿地の清掃作業に取り組んだ。

山本の放鳥拠点からは 3 年前にも 2 羽が巣立ったが、日高地区には居着かなかった。「今度こそ日高に住み着いてもらおう」という豊岡市の呼びかけに応じ、広島市の復建調査設計や地元の橋本精工、円山川漁協、NPO コウノトリ湿地ネットなどの人たちが集まった。

一行は放鳥拠点近くにある同市日高町奈佐路の人工巣塔下のピオトープを中心に活動。茂った水草や藻を取り除いたり、あぜの草を刈り取ったりしたほか、エサとなる魚類を放したりした。

社員 8 人で参加した復建調査設計の福成孝三社長は「豊岡で湿地再生事業の調査に携わり、地元の人との交流が生まれた。コウノトリのための湿地再生をお手伝いできれば」と話していた。



ピオトープに茂った藻などを集める

参加者たち＝豊岡市日高町奈佐路